

令和元年住民懇談会 主な質問・要望事項 等について

令和元年11月14日から21日まで6
会場で住民懇談会を行いました。
各会場での主な質問事項をお知らせ
します。
質問に対する回答は、後日行政区回
覧でお知らせします。

トマム(11/14) 9人

- トマム地区に、新しいタイプの住宅を建築してほしい。
- カーシェアリングはいい話だと思ふ。駅までの交通手段があれば非常に便利だと思う。
- トマム保育所の増築・改築について進捗を教えてください。
- バスの時間帯がニーズにあっていない気がする。むらびと交通でも足りない、村営バスでも足りないというのが現状であり、柔軟な交通手段の確保が望まれている。
- 学校の授業で、北海道大学の教授による授業は継続してほしい。子どもたちにとって貴重な体験である。
- 住宅の入居の時、公営住宅の入居のめ切が毎月15日である。正式な決定

双珠別(11/19) 6人

- 泣く木の看板は除去しても良いと思ふ。真偽のわからない話は残しておくべきではない。事実が確認できないのであれば除去すべき。
- 道路管理について。村道にかかるような大きな木についても伐採してもらいたい。走行していても邪魔になるような木もある。
- 中学生に対するピロリ菌検査の助成はしないほうが良い。
- 郷土資料館が物産館にあったが、見ごたえがある。道の駅等でも見ているだけと面白いと思う。観光資源として、観光客の目にもつくように

美園(11/18) 4人

- 公営住宅に、20年近く住んでいる。外壁・風呂・床が古い。修繕していただけるのか。
- 除雪や屋根の雪下ろしは個人で対応すると思うが、雪下ろしをしない住民もおり、家の間の雪が落ちて、車にあたりそうになることがあった。

川添(11/19) 3人

- 免許返納者も増えてくるので地域交通制度の周知が必要。制度についてはおそらく浸透していない。
- 農協の金融機関がなくなるという噂を聞いている。村の対応は。
- 最近の自然災害は、想定外ばかりのことが発生する。河川にも木やゴミが増えると、水害のきっかけになるのではないかと。除去してもらえるとありがたい。

コンプラ(11/20) 5人

- 基幹交通の整備にプラスして、小回りがきく交通体系を整備し柔軟な対応ができるようにしてほしい。
- 地域交通のワンストップ窓口があるともっと理解しやすくなる。
- 村営バスのダイヤを見直してほしい。15時ごろの便を13時頃にしてほしい。そうすると富良野での時間の使い勝手が良くなる。3便の使い勝手がわるい。
- 中学生のピロリ菌検査への助成は見直すべきでは。医学的にも諸説あり、ピロリ菌除菌のメリット・デメリットを的確に把握しないまま、検査の助成をするのはいかがなものか。
- 医師が突然やめると住民は不安になる。

占冠(11/21) 6人

- ごみ分別のパンフレットのようなものを作っていると聞いていたがいつ頃住民に配布されるのか。
- 村内の公園や役場前庭園など、人が訪れる場所については木の剪定など景観を整備したほうが良い。
- 宮下橋の川底が上がってきたので、堆積した川砂利を除去してほしい。
- 占冠村も宿泊税を導入したほうが良い。使い道はリゾートがあることによる環境整備などが望ましいと思う。
- 字占冠には住むところがない。教員住宅とかを開放してもらえるとありがたい。
- バスの3便の時刻を見直してほしい。富良野市でもう30分ほど余裕があれば、使い勝手が良い。歩くのが遅い高齢者は、富良野市で用事を足せない。
- 火葬場の清掃が行き届いていなかった。
- 歩道の除雪がされていないときがある。児童生徒が歩けるスペースだけでも確保していただきたい。



新聞コンクールで表彰

取材から作成まで全て自分でやりました
道内の小学生が自ら取材や記事の作成を行う新聞コンクール『第25回どうしん私とぼくの小学生新聞グランプリ』で、トマム学校2年生のラナ・マユさんが佳作を受賞しました。今回コンクールの応募作品は9,718点、参加した小学生は1万1,348人でした。ラナ・マユさんは、「自分でインタビューしたり、たくさん文字を書いて大変だった。出来上がったときは気持ちよくて、受賞できて嬉しかった。」と受賞の喜びを語ってくれました。



総合センター前の駐車場舗装

株式会社山伏パコム(荒木 徹 代表取締役社長)様より、地域貢献活動として占冠村総合センター前駐車場の舗装補修を行っていただきました。

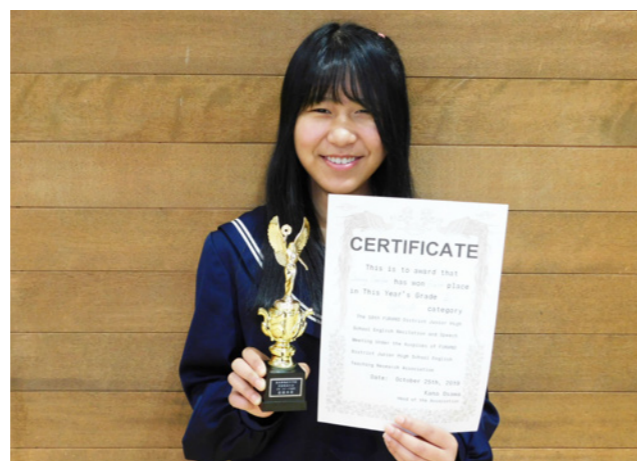
舗装補修作業は、7月20日に実施されました。

この度は、駐車場の整備にご協力いただき、心より感謝申し上げます。



コミュニティ・スクール議会

魅力ある村づくりを進めるために
11月20日(水)、『魅力ある村づくりのため、自分が村長になったらどんなことをしたいか』をテーマに、村内中学生と村議会議員が論議する『コミュニティ・スクール議会』が開催されました。中学生からは「通学路を改善したい」、「避難誘導と避難路を改善したい」、「イベントを活性化させたい」、「中学校の避難所としての機能を改善したい」、「村と外国の絆プロジェクトを導入したい」等の質問がありました。



富良野地区中学校英語発表大会

流暢な英語を披露しました
日ごろの英語学習の成果を発表し合う『第58回富良野地区中学校英語発表大会』が富良野市で開催され、トマム学校8年生のグルンク・ソニカさんが『スピーチ部門』で優勝しました。ソニカさんは、英語でトマム地区や学校生活などを発表し、「楽しい学校生活の様子を伝えなかったのが、聞いている人がつまらないように笑顔で話すことを心がけた。優勝できて嬉しかったので、来年も参加したい。」と語り、来年の意気込みも語ってくれました。